



<p>施策名</p>	<p>大 事 項 中 事 項 小 事 項</p>	<p>地球温暖化対策に対する取り組み 環境負荷の小さい交通体系の構築 物流の効率化等 [旅客フェリー・内航RORO船の利用促進 に向けた取り組み支援]</p>	<p>海事振興部</p>
<p>施策の概要</p>	<p>内航海運の二酸化炭素単位排出量は、貨物トラックの約5分の1で、環境保全の面で優れた輸送特性を有していることから以下の施策を推進する。</p> <p>イ) 自動車による輸送が主体となっている「雑貨輸送」を、海上輸送機関（長距離フェリー・RORO船及びコンテナ船）へモーダルシフトすることにより、さらなる環境負荷の低減を図る。</p> <p>ロ) 地球環境に優しい「海上輸送機関」を旨として、既存船のリプレイス時における積載能力の増強や高速化、さらには最新の省エネ設備・技術の導入による低炭素化に向けた取り組みを積極的に支援する。</p>		
<p>28年度の計画</p>	<p>旅客フェリー・内航RORO船は、陸上の交通機関のバイパス的役割として、国内幹線輸送の一翼を担っており、また、物流の効率化・地球環境問題等に対応したモーダルシフトの推進が求められている。今後においても、旅客フェリー・内航RORO船の利用促進に向けた取り組みを積極的に支援する。</p> <p>また、既存船のリプレイス時等に各種環境負荷低減に関する補助制度の案内などを通じて、積載能力の増強や高速化、さらには最新の省エネ設備・技術の導入による低炭素化に向けた取り組みを積極的に支援する。</p>		
<p>27年度の実績と評価</p>	<p>平成27年度には、九州を発着する長距離フェリー航路（片道300km以上の航路）において、新たな省エネ技術を導入した次世代型フェリー（従来船よりCO₂の排出量を約20%削減）が4隻就航した。</p> <p>また、内航RORO船については、平成27年度末において全国で74隻運航しており、そのうち九州では1/4にあたる18隻が運航されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1462 842 1760">  </div> <div data-bbox="850 1462 1329 1760">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="368 1776 762 1839"> <p>オーシャントランス(株)の長距離フェリー 「フェリーびざん」</p> </div> <div data-bbox="866 1776 1217 1839"> <p>マルエーフェリー(株)のRORO船 「琉球エクスプレス3」</p> </div> </div>		